



注意！

荷降ろし・開梱前に必ずこの注意書きをお読みください！

北欧材ウツディハウス

WH-180B

**地震、台風に強いオリジナル設計
超簡単組立**

荷降ろしのための準備

1. 商品を受け取る際にはトラックからの荷降ろしを手伝って下さい。
(この条件を含めた運賃になっています。)
2. 荷降ろしの際、またその後の商品の置き場で、次のようなことが必要です。
 - A. インパクト電動ドリル: 組立のため
 - B. 軍手: 手を守るため。
 - C. 安全に降ろしていただくため、靴や服は動きやすいものを身に着けてください。
 - D. 大き目のノルーンシートあるいはビニールシート: 積み上げたパネルを雨や当から守ります。
 - E. 梱包されたパネルは3つほどに分けて積み上げて下さい。その際、下にパレットや
 - F. 使用済段ボールなどを敷いて、地面やコンクリートなどに直接触れないようにして下さい。
 - G. 次の番号の梱包は傷みやすいので、積み上げの一番上にして下さい。
下の方には積まないでください。
 - ⑧ ドア及びドア横壁
 - ⑤ 左壁上(窓付)及び右壁上
 - H. 次の梱包番号のものは重いので、一番下において下さい。
 - ① 屋根、その他
 - ② 屋根、妻壁後
 - ③ 床(前)
 - ④ 床(後)
 ※ 屋根同士で又、床同士で重ねる方が、屋根と床を重ねるよりも安全です。
 - I. 注意: パネルを立てておくことは極力やめて下さい。
倒れると危険であり、パネルも破損の可能性があります。

3. 梱包から取り出したパネルを移動したり、積み上げるときは特に次の部分が破損したり傷んだりしないよう十分に注意してください。

① パネルの片方の端は凸又は凹状で、傷みやずくなっています。

持ち上げたり、おいたりするときに十分にご注意ください。

② 窓の取っ手部、窓の格子、ドアの窓の格子、破風(三角形のパネル)の両端は痛みやすい部分です。移動や、パネルの積み上げの際は十分にご注意ください。

③ 屋根に貼り付けた屋根材はやわらかいアスファルト材です。こすったり硬いものに当てたりすると剥がれますから取り扱いにご注意ください。

組立に必要な道具

あらかじめご準備ください。

軍手	パネルにはさくれなどがあります。
電動ドリル	強度を保つため、もくねじの本数を多くしています。硬い木を使用していますので、できればインパクト電動ドリルをご用意ください。
木槌	パネル同士をきちんとあわせるために使用します。
脚立(はしご)	屋根板を乗せる際、屋根を固定する際、屋根カバーを乗せる際に使用します。
メジャー	パネルの寸法を確認します。
水準器	床板の水平を計ります。
ダンボール紙など	パネルをよけておくときにパネルが傷んだり汚れたりしないよう下に敷きます。数枚後用意ください。
金槌	屋根の天辺にトタンカバーを釘打ちする際に使用します。
木工用ボンド	万が一板の割れなどが発生したときに使用します。
コンクリートブロック	9個以上、小屋の下に敷きます。詳しくは説明書を読んでください。 床を地面に直接置くと雨にぬれたりして痛みやすくなります。ブロックをしいて地面から小屋を浮かせます。



注意！

**開梱・組み立て前に必ずこの説明書
をお読みください！**

組立のための準備

1. 組立は良い天気のと看に行ってください。
風の吹いてきるときや雨の降っているときは危険ですので組立しないでください。
2. 地盤の安定したところに設置して下さい。
3. 組立時は周囲の安全をよく確保して行ってください。
4. 組立は最低3人で行って下さい。
安全に、そして確実に組み立てていただくためです。
5. 組立前に説明書に一通り目を通し、大まかな手順を確認してください。
6. 組立前に説明書を読み、必要な道具をそろえ、組立に必要な環境を整備してください。
7. 組立は基礎の作業(基礎工事)や塗装以外の組立部分だけで2-3時間必要になります
時間に余裕を持って、明るい時間帯に組立が終わるようにしてください。
8. 土台及び床は必ず水平を確認してから組み立てを始めて下さい。
※ ドアーにヒズミが生じます。
9. 転倒防止のため、アンカーは必ず取り付けて下さい。
10. まれに商品の部材が不足している場合がありますので、施工前に必ず部材確認を行って下さい。
万が一部材不足であった場合は早急に発送いたします。
※なお、部材不足による追加工事費などの責任は負いかねますのでご了承ください。

施工前後のご注意

1. (重要) 台風などの強風や地震などによる自然災害での破損に対しては損害保険に加入して対応されることをお勧めします。この商品は優れた強度が特徴ですが、破損に対する保障はされていません。
2. 木製品に付き、ひずみ、日々、カビなどが発生する場合があります。
3. 雨風の強い時等雨水が差し込む場合があります。
※ 隅々のコーキング処理をお勧めします。
4. 節目から雨水が染みだすことがあります。
5. 木材の腐食などで水がしみ込んでこないように、初回は施工後
6. 1～3年で、以降3～5年を目安に再塗装されることをお勧めします。
7. 木材から出たヤニは、水やコールドスプレーで冷やしてから、へらで削り取ると、きれいに除去できます。
8. アスファルトシングルは10年ほどで防水性が落ちてきます。
新しいシングルを重ね張りするか防水塗装することをお勧めします。

商品お問い合わせ電話番号: 050-3776-0824 FAX: 076-465-3618

メールアドレス: dtr-se@daiju.net

株式会社 大樹トレーディング